

◆ 令和5年度 県民文化部当初予算案のポイント ◆

次期総合5か年計画の初年度として、基本目標「確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る」を踏まえ、県民一人ひとりが安心して心豊かに暮らすことができるよう、市町村やNPOなど様々な主体と協働しながら、県民生活に密接に関連する施策を関係部局と連携を図り、推進します。

持続可能で安定した暮らしを守る・創造的で強靱な産業の発展を支援する 146,833千円

【県民生活の安全確保】

- ・ 高齢ドライバー等に対する安全運転サポート車の普及啓発
- ・ 県警・市町村・関係団体と連携し、電話でお金詐欺被害防止対策を推進

【循環経済への転換の挑戦】

- ・ 事業者との協働による県民のエシカル消費の実践につながる取組を実施するとともに情報発信を充実

快適でゆとりのある社会生活を創造する 1,855,824千円

【地域活力の維持・発展】

⑧ 共創による課題解決を一層進めるため、共創スキームの構築・展開に取り組むとともにNPOの活動を支援

【文化芸術の振興と文化芸術の力の様々な分野への活用】

- ⑧ 「信州アーツカウンシル」の体制強化や助成プログラムの拡充により、地域の文化芸術の発展を推進
- ⑧ アートの手法を活用した学びを教育現場に広げ、子どもたちのコミュニケーション能力等の向上を支援
- ・ 県立美術館における企画展や交流・学習事業の充実

誰にでも居場所と出番がある社会をつくる 3,826,518千円

【若者の結婚・出産・子育ての希望実現】

- ・ 結婚応援パスポートや結婚新生活における経済的支援制度の利用を促進
- ・ 妊娠時から出産・子育て期に伴走型支援と経済的支援を一体的に実施する市町村を支援
- ⑨ 0～1歳児保育について国基準以上に保育士を配置する私立保育所等を支援し質の高い保育を確保

【子ども・若者が夢を持てる社会の創造】

- ⑨ 子どもや女性・若者の声を政策に反映させるため、定期的に意見を聴く新たなモニター制度を実施
- ⑧ 「発達障がい者支援センター」を「発達障がい情報・支援センター（仮称）」に改組し、支援体制等を強化
- ⑨ 給付型奨学金制度の創設により、大学等への進学を応援
- ⑨ ヤングケアラー専用相談窓口の設置やコーディネーターの配置により、支援体制を整備
- ⑧ 身近な場所で専門的な児童家庭相談を行う児童家庭支援センターの運営費の支援を拡充

【年齢、性別、国籍、障がいの有無や経済状況等が障壁とならない公正な社会の創出】

- ⑧ 犯罪被害者等に対し見舞金の支給や無料法律相談を実施するとともに、新たに市町村への研修等を実施
- ・ モデル地域への日本語教師の派遣等、多文化共生社会づくりのための取組を推進

【女性が自分らしく輝ける環境づくり】

- ⑨ 女性活躍推進アドバイザー（仮称）の派遣による、企業の実情に応じたきめ細かな支援の実施

誰もが主体的に学ぶことができる環境をつくる 13,775,438千円

【一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進】

- ⑧ 私立学校の教育条件の維持向上や児童生徒等の経済的負担軽減を実施
- ・ 信州やまほいく認定園の保育環境等の向上支援や利用世帯の保育料負担の軽減等を実施
- ⑨ 「信州学び円卓会議（仮称）」を開催し、個別最適な学びの在り方等を議論

【一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出】

- ⑨ 不登校児童生徒に多様な学びの場を提供するため、「信州型フリースクール」認証制度の構築を検討

【高等教育の振興による地域の中核となる人材の育成】

- ・ 長野県立大学・大学院が行う教育研究活動、インターンシップや社会人の学び直し等を支援
- ⑨ 理工系学生・女子高校生と県内企業との交流機会を創出し、理系人材の県内定着を促進
- ⑨ 県内での大学等の選択肢の増加に向け、県外大学等への意向調査や立地促進活動を実施